

平成 20 年度事業報告

特定非営利活動法人
高度情報通信推進協議会

当協議会は、ユーザ側の視点に立った高度情報通信技術・施工技術に関する人材育成及び情報提供を行うことを目的として事業運営を推進した。そのため、情報通信配線技術に関する人材育成を目指す技能検定試験事業の推進を積極的に行った。また、ユーザの立場に立ったワンストップ施工技術の普及を目指した並びに情報ネットワーク施工プロフェッショナル認定（INIP）を通じた人材育成事業も強力に進めた。

I 人材育成・認定事業

(1) 技能検定事業

厚生労働大臣指定試験機関として、情報配線施工技能検定試験の公正かつ積極的な運営を行った。また、新入社員教育の一環として技能検定試験制度を活用していただくための広報活動をベースに企業や賛助団体への協力関係を強化して行うとともに、専門学校等の教育機関への広報活動が浸透し、3級技能士合格者は急増した。

(2) INIP 認定事業

Bronze・Silver 認定者に対しては、上級認定資格の取得促進のための広報活動を会員賛助団体等とも連携し実施した。また、賛助団体の会員向けの講習会・試験を実施した。また、継続的学習プログラムの講習会の実施並びに認定者・受験者への情報提供を図るため、認定者向け情報誌(INIP ニュース)の発行や HP の中身の更新を円滑に行うため、CMS の導入などの改善でスピーディな情報提供を行った。

II 普及・啓蒙事業

(1) 情報通信配線技術フォーラム 2009

情報通信配線技術施工技術の普及・啓蒙及び人材育成を目的として、平成 21 年 1 月東京ビッグサイトで第 9 回ファイバーオプティクス EXPO(FOE2009)と共催し、前回同様に大盛況を博した。FOE2009 の入場者数は 3 日間合計で 15,227 名であった。

また、競技会のプログラムの一つとして、技能五輪全国大会の予選会(地方大会)を実施し、技能検定実技試験免除も厚生労働省のご指導の下に実施した。

(2) 第 46 回技能五輪全国大会(千葉県)への活動支援

昨年 10 月開催された第 46 回技能五輪全国大会用競技用機材・部材の調達・提供や出場選手推薦など技能五輪支援活動に積極的に協力した。